

【NRCLレポート】 花粉症／花粉アレルギー調査

Part1：全体編

2018年3月調査結果

 **日本リサーチセンター**
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL:03-6667-3400(代) FAX:03-6667-3470
<http://www.nrc.co.jp/>

◆NRCLレポート

日本リサーチセンター(NRC)では、**全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査(NOS)**を、毎月定期的を実施しております。本レポートは、NOSを利用した自主調査「**花粉症/花粉アレルギー**」についての紹介です。

この調査は、2003年3月に初めて実施し、その後、2010年以降毎年3月に実施している時系列調査です。サンプル数は、エリア・都市規模と性年代構成を日本の人口構成比に合致するよう割付をおこないました。また、対象エリアは日本全国、年代は15歳から79歳までと対象者の幅を広く設定していますので、全体結果は日本人全体の実態や意識を反映しているとお考えください。

調査結果は、「Part1:全体編」(本篇)と「Part2:花粉症/花粉アレルギーの人の調査結果編」の2つに分けてご紹介します。

◆調査内容/項目

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ①アレルギーと花粉症 | ②「舌下免疫療法」/認知、治療意向、推奨意向 |
| ③最近3か月間に花粉対策でとった行動 | ④最近3か月間で花粉対策で購入した商品 |
| ⑤マスクをつけることについて | |

◆Part1：全体編の主な結果は以下の通りです。

①アレルギーと花粉症

- **2018年全体の結果では**、「アレルギーは持っていない」と回答した人は52%であり、約半数以上がなんらかの「アレルギー」を持っている。
- アレルギーの種類では「花粉症/花粉アレルギー」が36%で最も多い。次いで、「ハウスダスト・ダニアレルギー」が12%、「食物アレルギー」が6%、「寒暖差アレルギー」が5%で続く。

- **年代別で見ると**、「花粉症/花粉アレルギー」は、15～69才で34～42 %だが、70代では23%と減少する。
- 「ハウスダスト・ダニアレルギー」は、15～59才では12～18%だが、60～70代では3～6%と減少する。
- 「ペットの毛アレルギー」は15～19才の11%が最も多い。年を追うごとに少なくなり、60～79才では1%程度。
- 「アレルギーは持っていない」は、15～69才では44～55%だが、70代では67%と多い。
- **エリア・都市規模別で見ると**、「花粉症/花粉アレルギー」は、関東で42%と多く、北海道・東北は29%と少ない。
- **時系列で見ると**、「花粉症/花粉アレルギー」は2018年が36%で前年の38%からは2ポイント減少だが、2003年との比較だと11ポイント増加している。

②「舌下免疫療法」 / 認知、治療意向、推奨意向

- 「舌下免疫療法」を簡単に説明した後、この療法に関する認知を聞いたところ、2018年の全体結果では、内容まで認知している人は11%、名前だけの認知は19%で、合わせて30%の人が知っていた。
- スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、「舌下免疫療法」を受けてみたいと思うかを聞いたところ、「治療を受けたことがある/現在治療中である」は1%未満、「受けたことはないが、受けてみたいと思う」は10%で昨年と変わらない。また、「受けてみたいとは思わないが、興味・関心はある」は36%で、興味関心を持っている人まで合わせれば、約半数が意向または関心を持っている。
- スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、「舌下免疫療法」を家族や友人に勧めたいと思うかを聞いたところ、「ぜひ勧めたいと思う」は3%、「まあ勧めたいと思う」と回答した人は28%。

③最近3か月間に花粉対策でとった行動

- この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策のためにどのような行動をしたかを聞いたところ、「外に干した洗濯物をとり入れる前に、洗濯物の花粉を払うようになった」が20%でもっとも多い。次いで、「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が19%、「窓を開けなくなった／換気の回数を減らした」が15%で続く。
- 「衣類へ花粉が付着するのを防ぐスプレーを使用するようになった」「ふとん用クリーナーズプレーを利用するようになった」「掃除機を使わないで掃除するようになった」という回答は、1～2%と総じて少ない。
- 「上記のような花粉対策はしていない」は53%で、半数近くの世帯では、何らかの花粉対策を行っていると言える。

④最近3か月間で花粉対策で購入した商品

- この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策用にどのような商品を購入したかを聞いたところ、「花粉症による鼻への負担がかかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が10%と最も多かった。
- 「(花粉対策を意識して購入したものが)この中にはない」という回答は73%となっており、7割以上が花粉対策を意識した商品を購入していない。

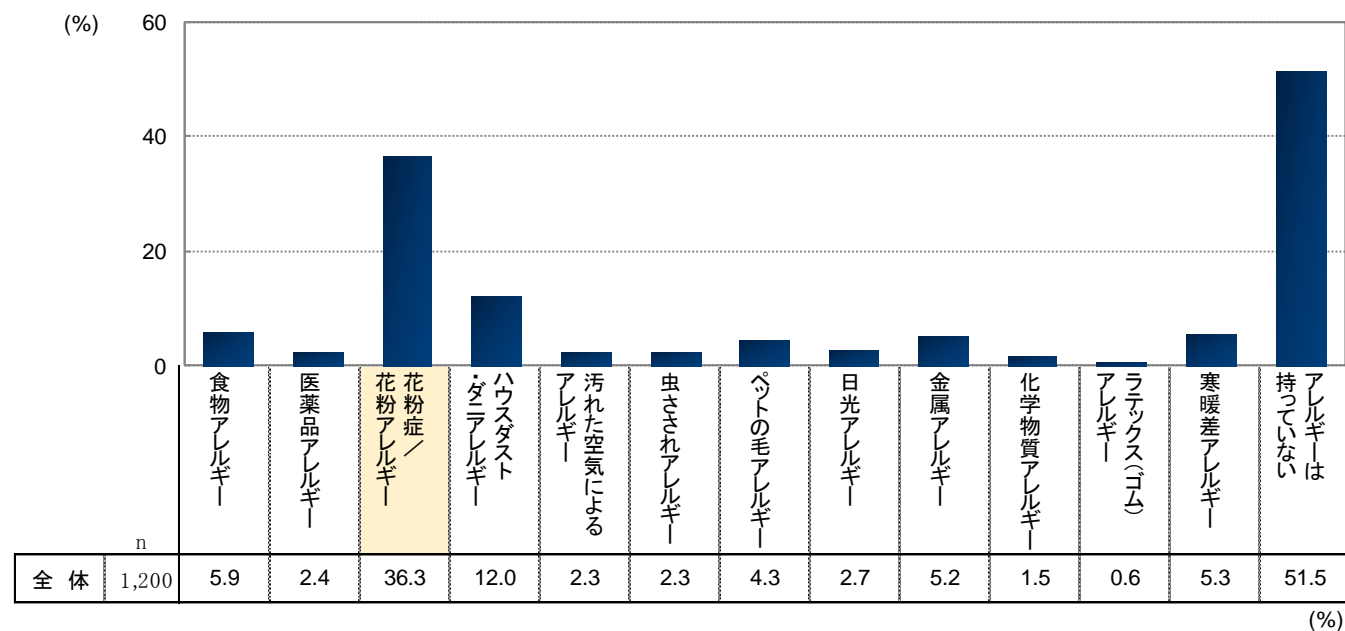
⑤マスクをつけることについて

- 【恥ずかしい・格好悪い】と【不潔に感じる】という項目について、「そう思う」はいずれも3～5%と少なく、80～81%が「そう思わない」と回答。
- 時系列で見ると、【恥ずかしい・格好悪い】を「そう思う」と回答する人は2011年には10%だったが、徐々に減少傾向にある。
- 【呼吸しにくい】は、「そう思う」が51%で、「そう思わない」の26%を上回る。
- 【マスクをすると安心・落ち着く】は、「そう思わない」が41%で、「そう思う」の21%を上回るが、「どちらともいえない」も36%と多い。
- 【花粉症予防に効果はない】は、「そう思わない」が50%で、「そう思う」の7%を上回るが、「どちらともいえない」も41%と多い。
- 【めがねがくもる】は、「そう思う」が64%で、「そう思わない」の15%を上回る。
- 【化粧くずれしやすい】は、「そう思う」が36%で、特に女性の58%が「そう思う」と回答している。

- ◆ 下記の項目のアレルギーを、現在持っているかを複数回答で聞いた結果である。
- ◆ 2018年全体の結果では、「アレルギーは持っていない」と回答した人は52%であり、約半数がなんらかの「アレルギー」を持っていると言える。
- ◆ アレルギーの種類では「花粉症/花粉アレルギー」が36%と最も多い。次いで、「ハウスダスト・ダニアレルギー」が12%、「食物アレルギー」が6%、「寒暖差アレルギー」が5%で続く。

Q 現在あなたは、次のようなアレルギーをお持ちですか。以下の中からいくつでもお選びください。(複数回答)

■ 全体 2018年



- ◆年代別で見ると、「花粉症/花粉アレルギー」は15~69才では34~42%だが、70代では23%と減少する。
- ◆「ハウスダスト・ダニアレルギー」は、15~59才では12~18%だが、60~70代では3~6%と減少する。
- ◆「ペットの毛アレルギー」は15~19才の11%が最も多い。年を追うごとに少なくなり、60~79才では1%程度。
- ◆「アレルギーは持っていない」は、15~69才では45~55%だが、70代では67%と多い。

■ 性別・年代別 2018年

		n	食物アレルギー	医薬品アレルギー	花粉症／花粉アレルギー	ハウスダスト・ダニアレルギー	汚れた空気によるアレルギー	虫さされアレルギー	ペットの毛アレルギー	日光アレルギー	金属アレルギー	化学物質アレルギー	ラテックス(ゴム)アレルギー	寒暖差アレルギー	アレルギーは持っていない
全体		1,200	5.9	2.4	36.3	12.0	2.3	2.3	4.3	2.7	5.2	1.5	0.6	5.3	51.5
性別	男性	592	5.2	1.0	34.8	7.9	2.0	1.5	2.9	0.7	1.5	0.8	0.0	2.2	55.1
	女性	608	6.6	3.8	37.8	16.0	2.5	3.0	5.6	4.6	8.7	2.1	1.2	8.4	48.0
年代別	15~19才	74	8.1	1.4	39.2	17.6	0.0	2.7	10.8	0.0	0.0	1.4	0.0	4.1	44.6
	20~29才	148	4.1	0.7	37.2	15.5	1.4	2.0	6.1	0.7	4.1	0.0	0.0	4.1	54.7
	30~39才	187	7.5	1.6	40.6	18.2	3.2	2.7	6.4	1.6	7.0	2.1	2.1	4.3	46.0
	40~49才	221	5.4	3.2	41.6	15.4	3.2	1.8	5.4	3.2	5.4	1.4	0.0	5.0	46.6
	50~59才	186	8.6	2.2	38.2	12.4	2.2	3.8	3.2	3.2	5.9	3.2	0.5	7.0	48.9
	60~69才	223	4.0	3.6	34.1	5.8	3.1	0.4	0.9	4.0	7.2	1.3	0.4	7.6	52.5
	70~79才	161	5.0	3.1	23.0	2.5	0.6	3.1	1.2	3.7	2.5	0.6	0.6	3.7	66.5

(%)

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆エリア・都市規模別で見ると、「花粉症/花粉アレルギー」は、関東で42%と多く、北海道・東北は29%と少ない。
- ◆花粉症以外のアレルギーでは、エリアや都市規模別に大きな差はなかった。

■ エリア別・都市規模別 2018年

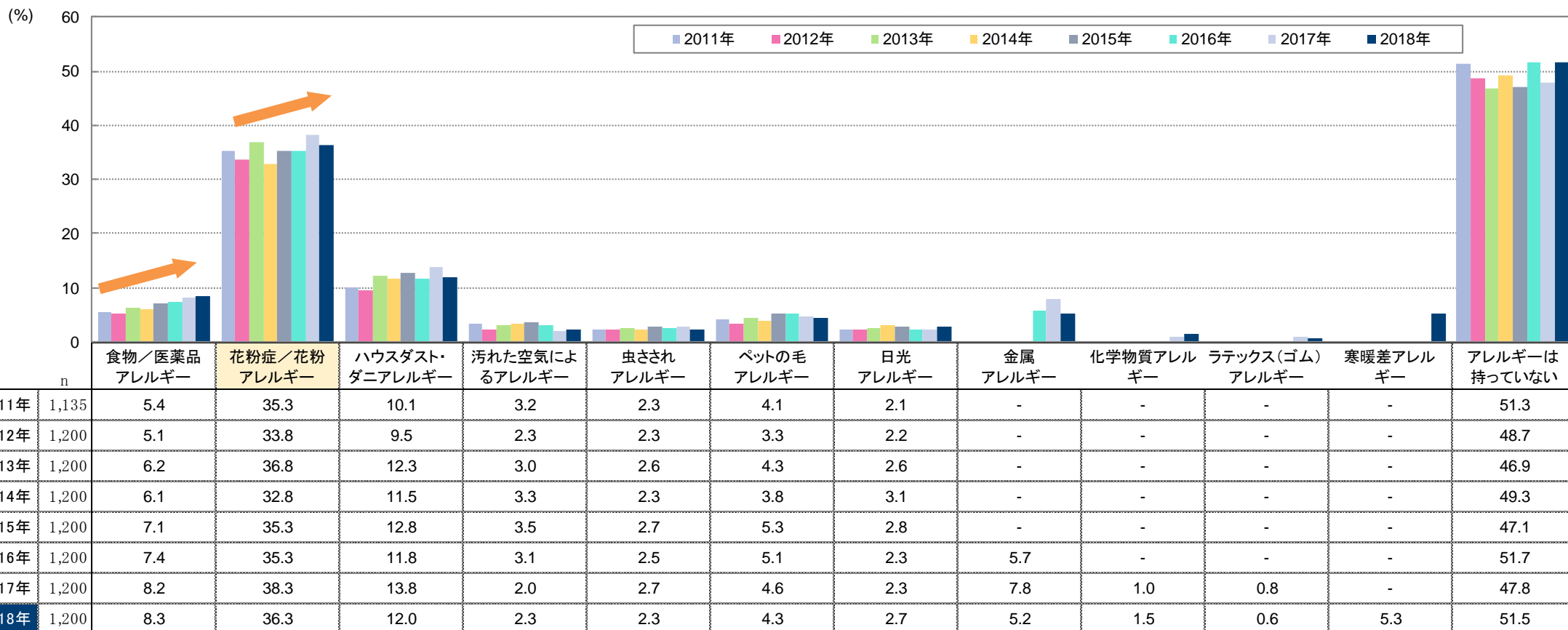
		n	食物アレルギー	医薬品アレルギー	花粉症 ／花粉 アレルギー	ハウスダスト ・ダニ アレルギー	汚れた 空気による アレルギー	虫さされ アレルギー	ペットの毛 アレルギー	日光 アレルギー	金属 アレルギー	化学物質 アレルギー	ラテックス (ゴム) アレルギー	寒暖差アレル ギー	アレルギーは 持っていない
全体		1,200	5.9	2.4	36.3	12.0	2.3	2.3	4.3	2.7	5.2	1.5	0.6	5.3	51.5
エリア別	北海道・東北	132	3.8	3.0	28.8	16.7	1.5	5.3	4.5	3.8	3.0	1.5	0.0	4.5	56.1
	関東	444	4.5	2.5	41.9	14.9	2.0	2.5	4.7	2.9	6.1	1.6	0.7	4.5	48.0
	中部・北陸	192	5.2	3.1	32.3	9.4	2.6	1.0	4.2	1.6	4.7	2.6	1.0	4.7	59.9
	近畿	192	7.3	1.0	39.6	9.4	3.1	2.1	3.6	2.6	7.8	1.0	0.5	6.8	46.4
	中国・四国・九州	240	9.2	2.5	30.8	8.3	2.1	1.3	3.8	2.5	2.9	0.8	0.4	6.7	52.9
都市規模別	21大都市	348	6.0	3.7	39.1	14.1	2.3	3.4	5.2	4.0	6.3	2.0	0.6	5.2	48.6
	15万以上の都市	378	5.3	0.5	38.4	12.4	1.6	1.3	3.4	2.4	2.6	1.3	0.5	5.3	49.5
	15万未満の市	372	5.4	2.7	33.3	9.9	2.4	2.2	4.6	1.9	7.0	0.8	0.5	4.6	56.5
	郡部	102	9.8	3.9	30.4	10.8	3.9	2.0	2.9	2.0	3.9	2.9	1.0	8.8	51.0

(%)

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆時系列で見ると、「花粉症/花粉アレルギー」は2018年が36%で前年の38%から2ポイント減少。
- ◆「花粉症/花粉アレルギー」「食物/医薬品アレルギー」は緩やかな増加傾向が見られる。

■ 全体 時系列

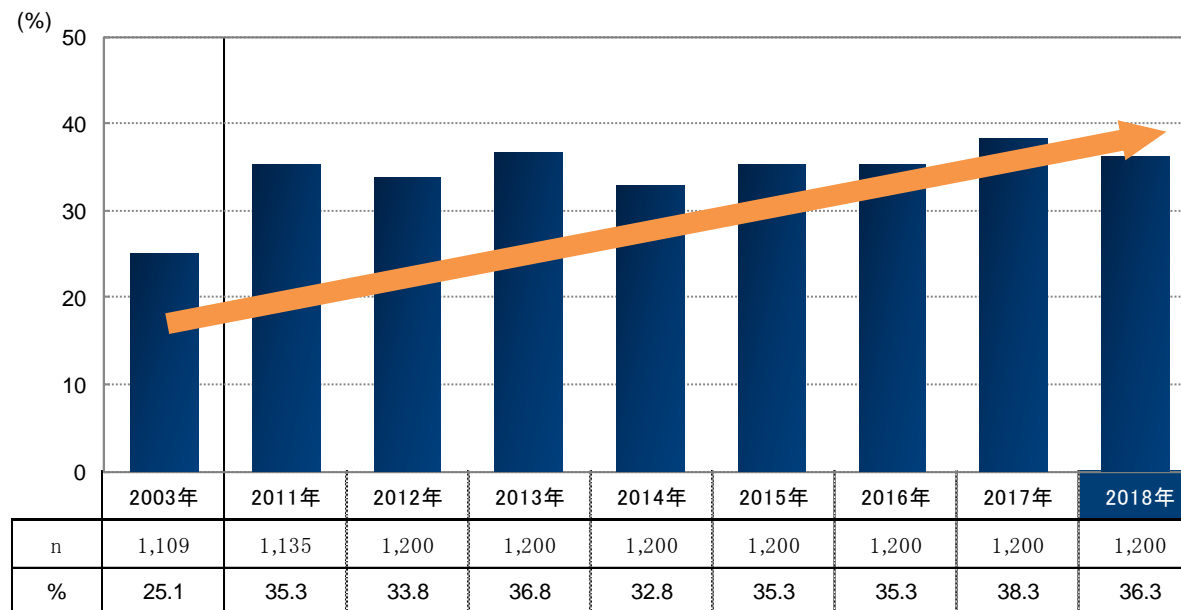


(%)

注1: 「金属アレルギー」は2016年に項目追加
 注2: 「化学物質アレルギー」「ラテックスアレルギー」は2017年に項目追加
 注3: 「寒暖差アレルギー」は2018年に項目追加

- ◆「花粉症/花粉アレルギー」について、2003年のデータを加えて時系列変化を見たところ、2003年は25%だったが、2011年以降は33～38%となっている。
- ◆2003年と2018年の2期での変化を見ると、25%から36%と11ポイント増加している。

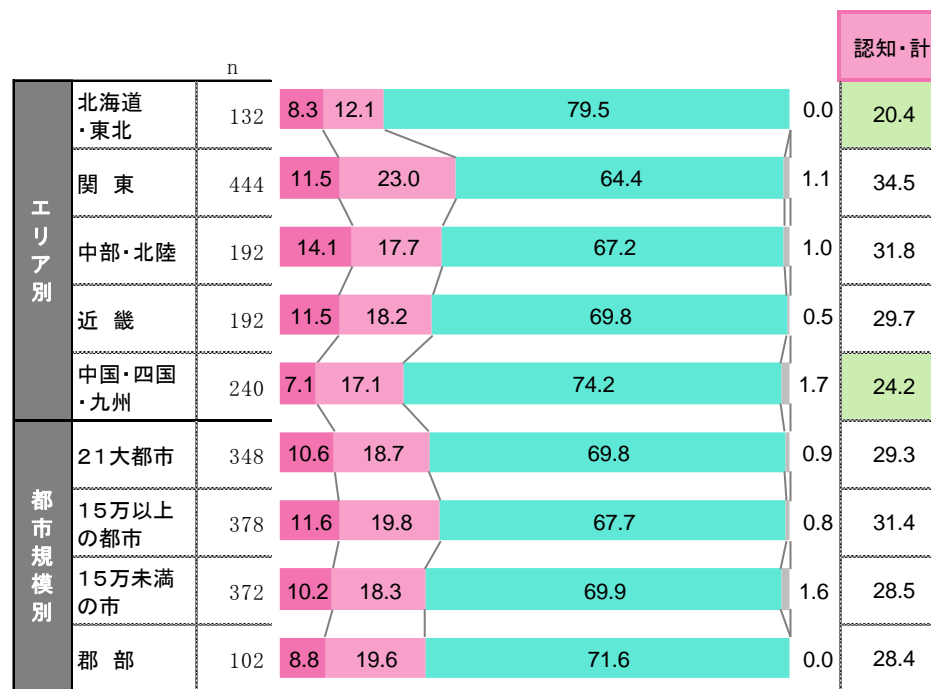
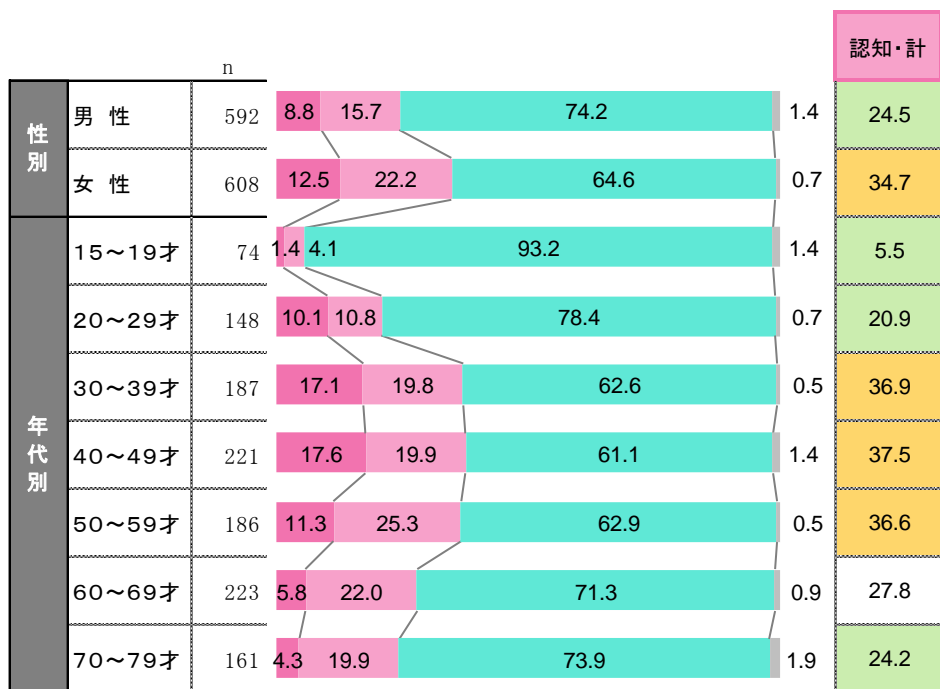
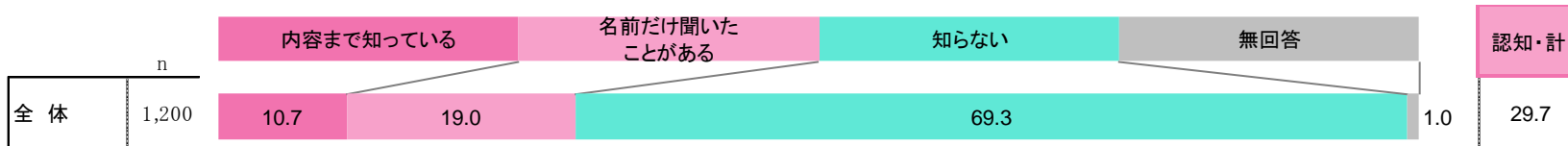
■ 全体 時系列



- ◆「舌下免疫療法」を簡単に説明した後、この療法に関する認知を聞いたところ、2018年の全体結果では、内容まで認知している人は11%、名前だけの認知は19%で、合わせて30%の人が知っていた。
- ◆性別では女性の方が認知者（認知・計）が多く、年代別では30～50代で認知者(認知・計)が多い。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

■ 全体と属性別 2018年



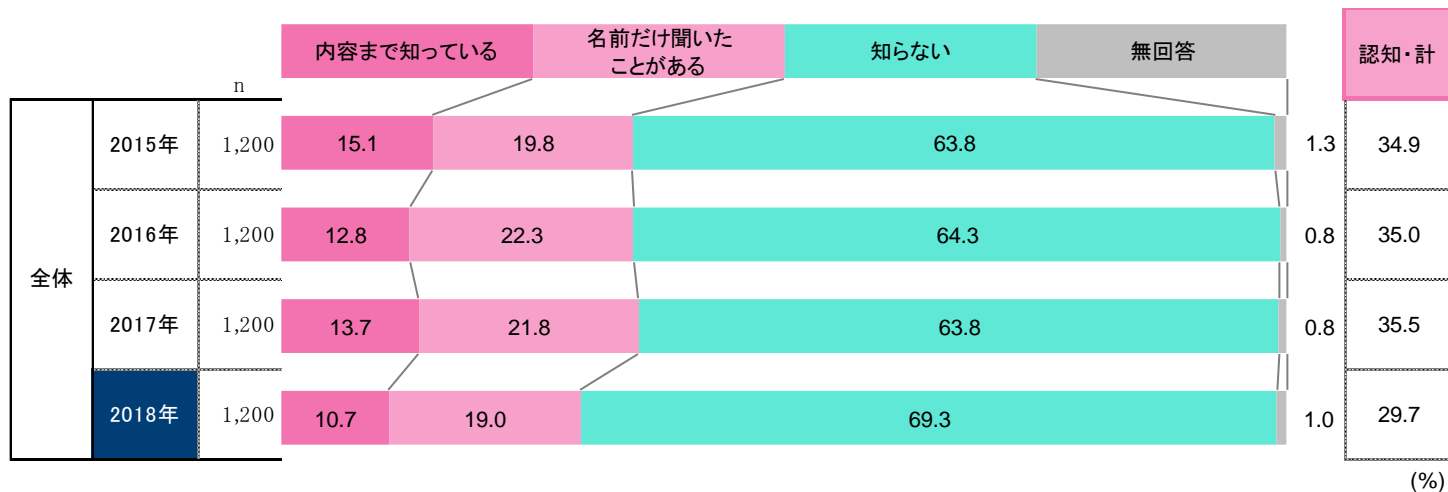
(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

(%)

◆「内容まで知っている」と「名前だけ聞いたことがある」を合わせた認知・計は、2017年と2018年で比較すると36%から30%と、6ポイント減少した。

Q あなたは、「舌下免疫療法」についてご存知ですか。「舌下免疫療法」とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌の下に投与し、体内に吸収させる方法で、この投与を数年に渡って継続的に行うことで症状を軽減させる治療法です。スギ花粉症やダニアレルギーの治療薬は保険適応になります。(単数回答)

■ 全体 時系列

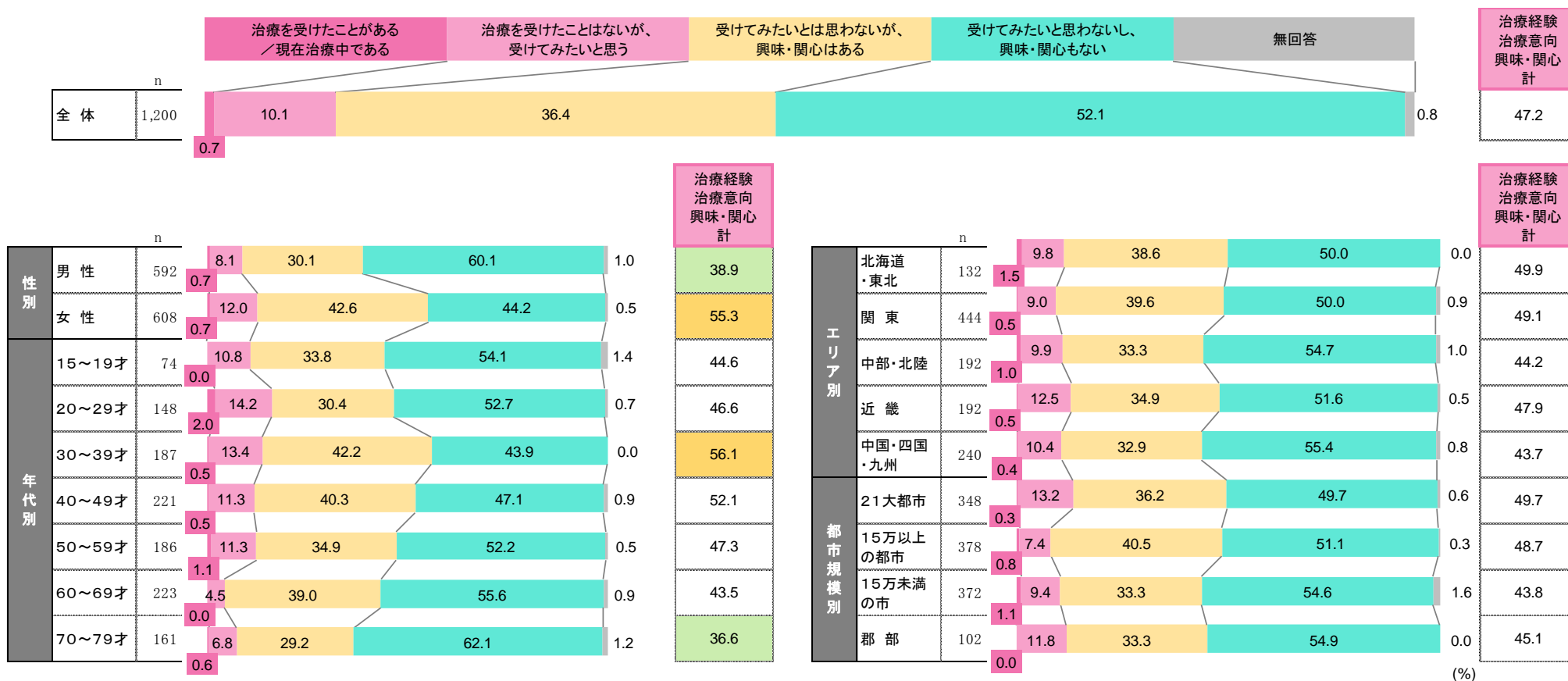


◆スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、「舌下免疫療法」を受けてみたいと思うかを聞いたところ、2018年全体結果では、「治療を受けたことがある/現在治療中である」は1%未満だが、「受けたことはないが、受けてみたいと思う」は10%。また、「受けてみたいとは思わないが、興味・関心はある」は36%で、興味関心を持っている人まで合わせれば、約半数が意向または関心を持っている。

◆属性別に見ると、性別は女性、年代別は30代で治療経験、治療意向、興味・関心が高い。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を受けてみたいと思いますか。(単数回答)

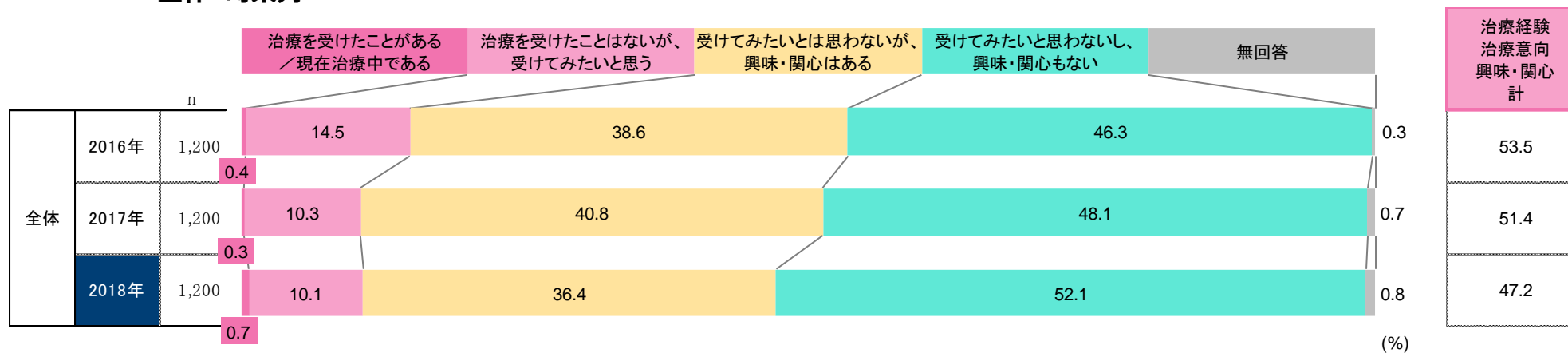
■ 全体と属性別 2018年



(%)

- ◆時系列で見ると、「治療を受けたことがある/現在治療中である」は1%未満で昨年、一昨年と変わらない。
- ◆「受けたことはないが、受けてみたいと思う」は昨年とほぼ変わらず、一昨年からは4ポイント減少した。
- ◆「受けてみたいとは思わないが、興味・関心はある」は36%で昨年から4ポイント減少した。

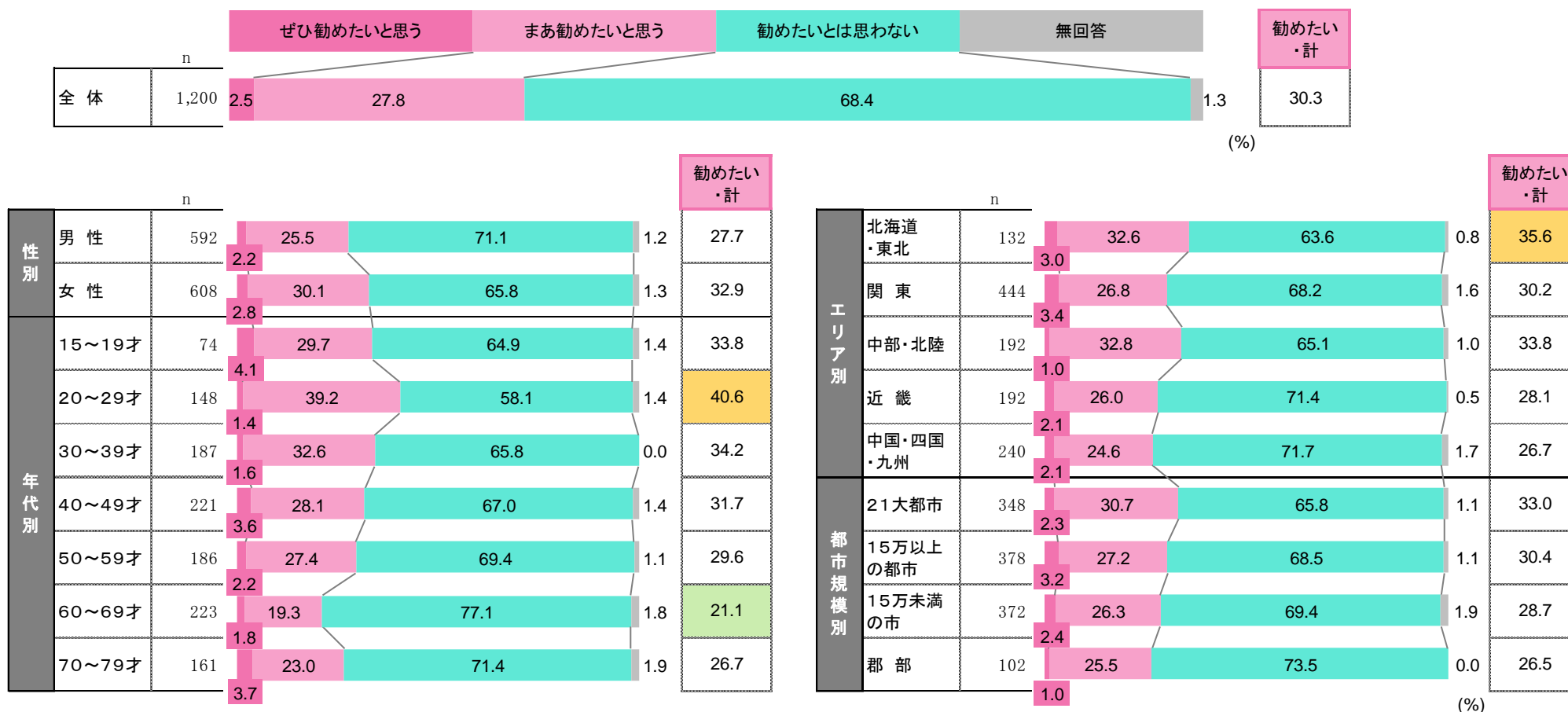
■ 全体 時系列



- ◆ スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、「舌下免疫療法」を家族や友人に勧めたいと思うかを聞いたところ、2018年全体結果では、「ぜひ勧めたいと思う」は3%、「まあ勧めたいと思う」と回答した人は28%で、合わせると30%が勧めたい(勧めたい・計)と回答。
- ◆ 属性別で見ると、年代別で20代が高く、60代が低い。エリア別・都市規模別では、北海道・東北が高い。

Q あなたは、スギ花粉症やダニアレルギーの治療として、この「舌下免疫療法」を家族や友人の方に勧めたいと思いますか。(単数回答)

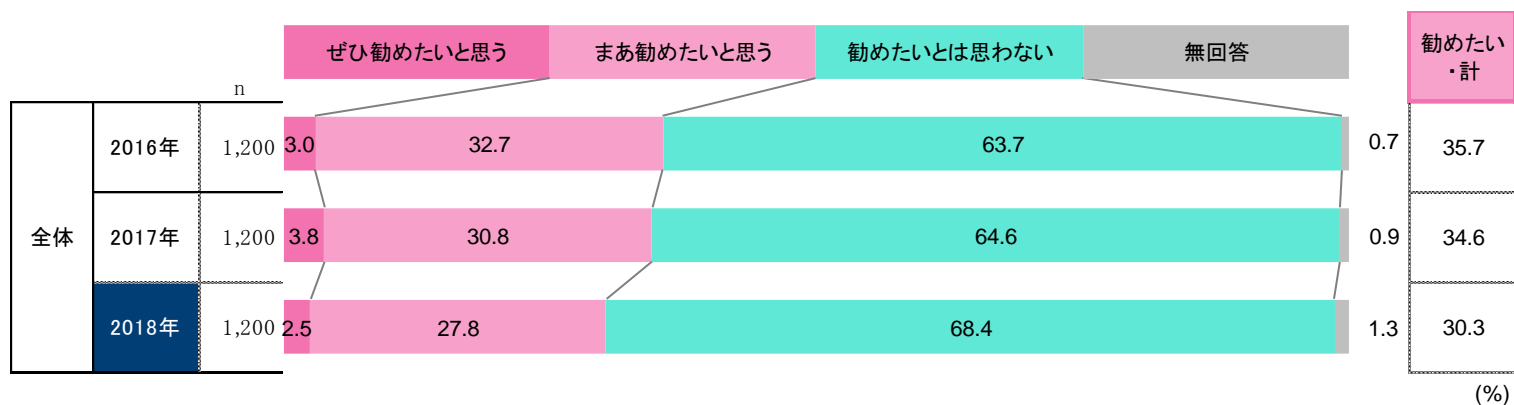
■ 全体と属性別 2018年



(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆時系列で見ると、「ぜひ勧めたいと思う」は3～4 %でありあまり変わらない。
- ◆「まあ勧めたいと思う」は減少傾向にあり、2018年は28%と昨年から3ポイント減少。

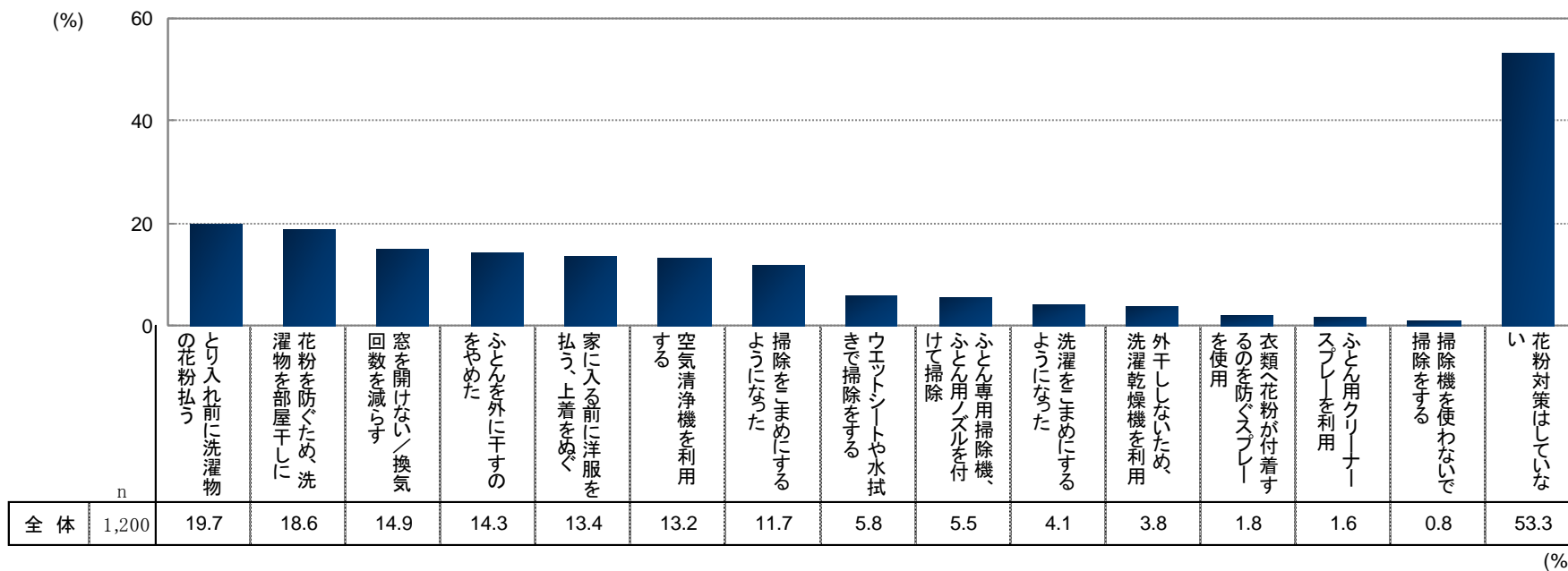
■ 全体 時系列



- ◆この3か月くらいの中に、自分や家族が花粉対策のためにどのような行動をしたかを聞いたところ、2018年全体では、「外に干した洗濯物をとり入れる前に、洗濯物の花粉を払うようになった」が20%でもっとも多い。次いで、「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が19%、「窓を開けなくなった／換気の回数を減らした」が15%で続く。
- ◆「衣類へ花粉が付着するのを防ぐスプレーを使用するようになった」「ふとん用クリーナーズプレーを利用するようになった」「掃除機を使わないで掃除するようになった」という回答は1～2%と少ない。
- ◆「上記のような花粉対策はしていない」は53%。半数近くの世帯では、何らかの花粉対策を行っていると言える。

Q この3ヶ月くらいの中に、あなたご自身やご家族が、花粉対策のためにとった行動として、下記の中からあてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

■ 全体(多い順に並び替え) 2018年



- ◆性別で見ると、「花粉対策はしていない」は女性では47%と半数以下だが、男性では60%と多くなる。
- ◆年代別で見ると、50代で「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」、60代で「外に干した洗濯物をとり入れる前に、洗濯物の花粉を払うようになった」という回答が比較的多い。

■ 性別・年代別(多い順に並び替え) 2018年

		n	とり入れ前に洗濯物の花粉を払う	花粉を防ぐため、洗濯物を部屋干しに	窓を開けない／換気回数を減らす	ふとんを外に干すのをやめた	家に入る前に洋服を払う、上着をぬぐ	空気清浄機を利用する	掃除をこまめにするようになった	ウエットシートや水拭きで掃除をする	ふとん専用掃除機、ふとん用ノズルを付けて掃除	洗濯をこまめにするようになった	外干ししないため、洗濯乾燥機を利用	衣類へ花粉が付着するのを防ぐスプレーを使用	ふとん用クリーナー／スプレーを利用	掃除機を使わないで掃除をする	花粉対策はしていない
全体		1,200	19.7	18.6	14.9	14.3	13.4	13.2	11.7	5.8	5.5	4.1	3.8	1.8	1.6	0.8	53.3
性別	男性	592	14.5	15.0	12.3	10.8	10.5	11.1	10.8	2.7	3.5	3.0	3.4	0.8	1.0	0.3	59.6
	女性	608	24.7	22.0	17.4	17.6	16.3	15.1	12.5	8.9	7.4	5.1	4.3	2.6	2.1	1.3	47.2
年代別	15～19才	74	14.9	14.9	12.2	6.8	5.4	10.8	10.8	4.1	8.1	2.7	2.7	2.7	1.4	0.0	59.5
	20～29才	148	10.1	13.5	10.8	8.8	9.5	12.2	7.4	3.4	3.4	2.7	0.7	0.7	0.0	0.7	66.2
	30～39才	187	22.5	21.9	11.8	15.5	10.2	15.0	14.4	5.3	7.0	2.7	4.8	1.1	0.5	0.5	47.1
	40～49才	221	19.0	21.3	17.2	18.6	15.8	15.4	11.3	7.2	6.3	5.0	5.0	3.6	3.2	0.0	46.6
	50～59才	186	19.9	24.7	17.7	16.7	15.1	11.8	10.8	6.5	8.6	4.3	4.8	0.5	2.7	1.6	51.1
	60～69才	223	26.0	17.5	16.1	17.0	17.0	14.8	12.6	4.9	2.7	3.6	4.9	1.3	1.8	1.3	50.2
	70～79才	161	19.3	11.8	15.5	8.7	14.3	9.3	13.0	8.1	3.7	6.8	1.9	2.5	0.6	1.2	62.1

(%)

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆エリア別で見ると、北海道・東北では「花粉対策をしていない」が71%と多い。
- ◆一方、関東では、「花粉対策をしていない」が44%と低く、何らかの行動をしている人が多いことがわかる。特に「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が24%、「ふとんを外に干すのをやめた」が20%、で、他の地域と比べて多い。

■ エリア別・都市規模別(多い順に並び替え) 2018年

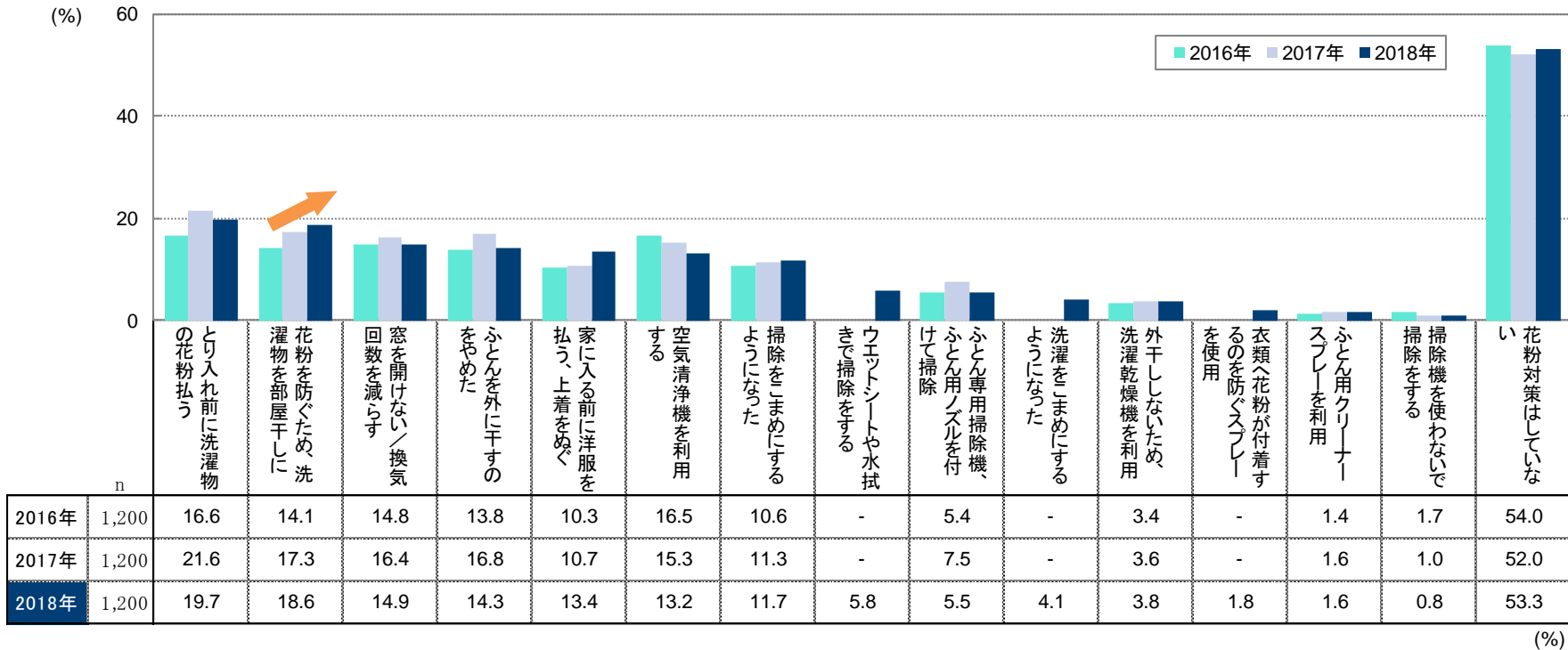
		n	とり入れ前に洗濯物の花粉払う	花粉を防ぐため、洗濯物を部屋干しに	窓を開けない／換気回数を減らす	ふとんを外に干すのをやめた	家に入る前に洋服を払う、上着をぬぐ	空気清浄機を利用する	掃除をこまめにするようになった	ウエットシートや水拭きで掃除をする	ふとん専用掃除機、ふとん用ノズルを付けて掃除	洗濯をこまめにするようになった	外干ししないため、洗濯乾燥機を利用	衣類へ花粉が付着するのを防ぐスプレーを使用	ふとん用クリーナー／スプレーを利用	掃除機を使わないで掃除をする	花粉対策はしていない
全体		1,200	19.7	18.6	14.9	14.3	13.4	13.2	11.7	5.8	5.5	4.1	3.8	1.8	1.6	0.8	53.3
エリア別	北海道・東北	132	7.6	13.6	8.3	4.5	6.8	6.1	6.8	3.8	5.3	6.1	0.8	0.8	1.5	1.5	70.5
	関東	444	23.9	23.6	19.6	20.0	17.6	16.0	14.2	6.3	5.9	3.6	5.0	2.7	3.2	0.2	43.7
	中部・北陸	192	18.8	17.7	14.1	15.1	11.5	12.5	11.5	5.2	5.2	5.2	3.6	2.1	1.0	1.0	54.2
	近畿	192	19.8	17.2	12.5	10.4	15.1	13.0	13.5	8.3	5.7	5.2	4.2	1.0	0.0	1.6	55.7
	中国・四国・九州	240	19.2	13.8	12.5	11.3	9.6	12.5	8.3	4.6	5.0	2.1	3.3	0.8	0.4	0.8	59.2
都市規模別	21大都市	348	22.1	21.8	17.0	18.7	16.4	14.4	13.8	7.2	8.6	5.7	4.3	2.9	2.6	0.9	45.7
	15万以上の都市	378	20.1	18.3	14.8	13.0	12.2	13.2	10.3	6.9	4.2	3.2	4.2	2.1	0.8	1.1	55.6
	15万未満の市	372	18.3	15.9	12.6	11.0	11.6	12.6	11.0	4.0	3.8	3.2	3.2	0.5	1.3	0.5	57.8
	郡部	102	14.7	18.6	16.7	15.7	14.7	10.8	11.8	3.9	5.9	4.9	2.9	1.0	2.0	1.0	54.9

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

(%)

◆時系列で見ると、「花粉がつくのを防ぐため、洗濯物を部屋干しするようになった」が19%で一昨年から5ポイント増加。

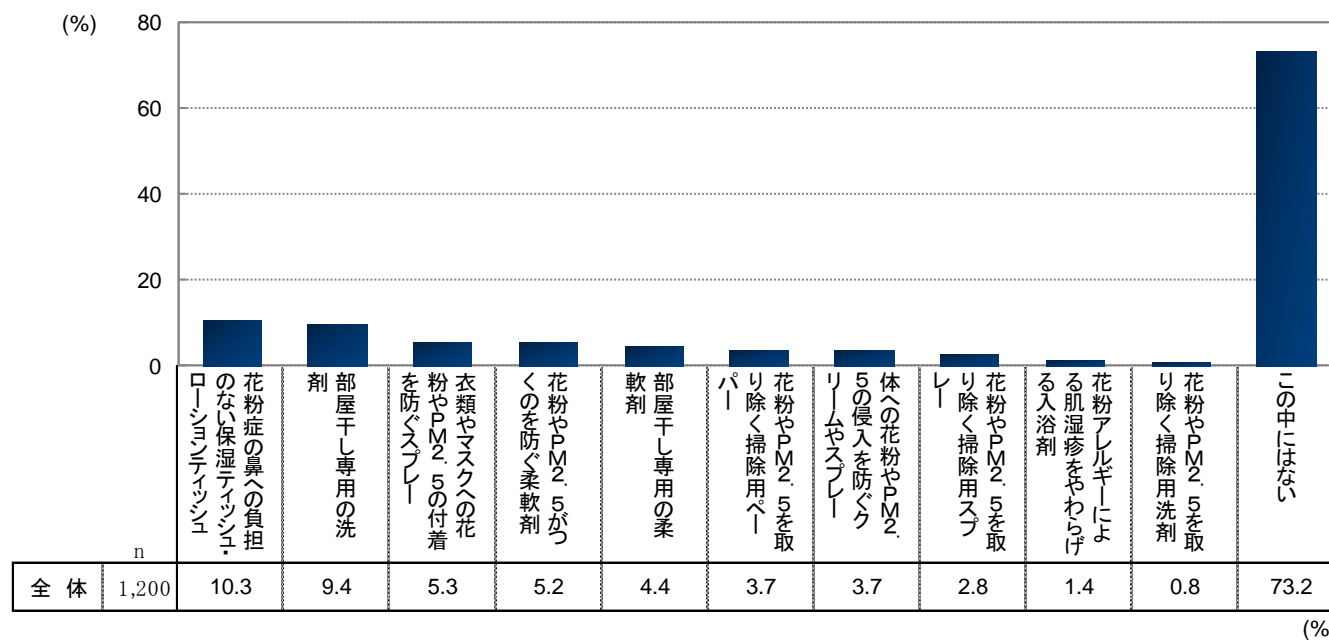
■ 全体 時系列



- ◆この3か月くらいの間に、自分や家族が花粉対策用にどのような商品を購入したかを聞いたところ、2018年全体では「花粉症による鼻への負担がかかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」が10%と最も多かった。
- ◆「(花粉対策を意識して購入したものが)この中にはない」という回答は73%と、7割以上が花粉対策を意識した商品を購入していない。

Q この3ヶ月くらいの間に、あなたご自身やご家族が、花粉対策用に下記の商品をお買いになりましたか。
次の中から(花粉対策を意識してお買いになったものだけ)あてはまるものをいくつでもお知らせください。(複数回答)

■ 全体(多い順に並び替え) 2018年



- ◆性別で見ると、「この中に入らない」が男性80%に対し、女性66%と女性の方が花粉対策用商品を購入している。
- ◆年代別で見ると、「この中にはない」は70代が80%と多く、他の年代よりも花粉対策用商品を購入している人が少ない。

■ 性別・年代別(多い順に並び替え) 2018年

		n	花粉症の鼻への負担のない保湿ティッシュ・ローションティッシュ	部屋干し専用の洗剤	衣類やマスクへの花粉やPM2.5の付着を防ぐスプレー	花粉やPM2.5がつくのを防ぐ柔軟剤	部屋干し専用の柔軟剤	花粉やPM2.5を取り除く掃除用ペーパー	体への花粉やPM2.5の侵入を防ぐクリームやスプレー	花粉やPM2.5を取り除く掃除用スプレー	花粉アレルギーによる肌湿疹をやわらげる入浴剤	花粉やPM2.5を取り除く掃除用洗剤	この中にはない
全体		1,200	10.3	9.4	5.3	5.2	4.4	3.7	3.7	2.8	1.4	0.8	73.2
性別	男性	592	7.3	5.7	3.7	3.4	3.2	2.0	2.4	2.4	1.2	0.7	80.1
	女性	608	13.3	13.0	6.7	6.9	5.6	5.3	4.9	3.3	1.6	1.0	66.4
年代別	15~19才	74	12.2	5.4	5.4	1.4	4.1	1.4	4.1	1.4	1.4	1.4	75.7
	20~29才	148	11.5	6.1	6.8	3.4	4.7	1.4	4.7	0.7	0.7	2.0	77.0
	30~39才	187	11.8	8.0	8.0	3.2	2.7	5.9	3.2	1.6	2.1	0.5	72.2
	40~49才	221	12.2	10.4	4.5	6.8	3.6	4.1	4.1	4.1	0.5	0.5	68.8
	50~59才	186	10.2	13.4	5.4	5.4	4.8	2.7	3.8	2.7	1.6	0.5	72.0
	60~69才	223	9.9	10.3	3.6	5.4	4.9	4.9	3.6	4.0	1.8	0.4	70.9
	70~79才	161	5.0	8.7	3.7	8.1	6.2	3.1	2.5	3.7	1.9	1.2	80.1

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

(%)

- ◆エリア別で見ると、「この中にはない」は、関東で68%と少なく、中国・四国・九州で78%と多い。つまり、中国・四国・九州は花粉対策用商品の購入が少なく、関東は購入が多い。
- ◆都市規模別で見ると、21大都市で「この中にはない」が少ない。

■ エリア別・都市規模別(多い順に並び替え) 2018年

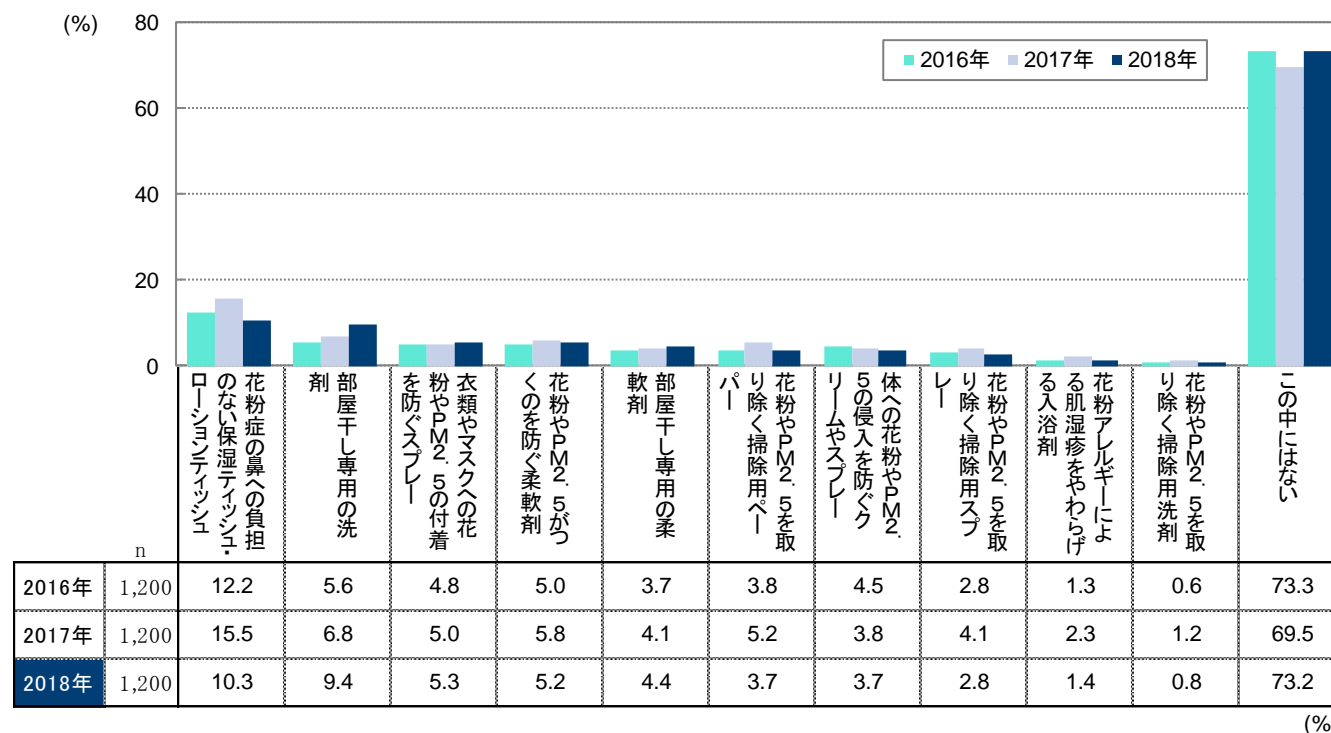
	n	花粉症の鼻への負担のない保湿ティッシュ・ローションティッシュ	部屋干し専用の洗剤	衣類やマスクへの花粉やPM2.5の付着を防ぐスプレー	花粉やPM2.5がつくのを防ぐ柔軟剤	部屋干し専用の柔軟剤	花粉やPM2.5を取り除く掃除用ペーパー	体への花粉やPM2.5の侵入を防ぐクリームやスプレー	花粉やPM2.5を取り除く掃除用スプレー	花粉アレルギーによる肌湿疹をやわらげる入浴剤	花粉やPM2.5を取り除く掃除用洗剤	この中にはない	
全体	1,200	10.3	9.4	5.3	5.2	4.4	3.7	3.7	2.8	1.4	0.8	73.2	
エリア別	北海道・東北	132	7.6	6.8	4.5	3.0	6.1	3.0	2.3	2.3	0.8	1.5	75.8
	関東	444	14.0	11.7	6.3	5.4	5.0	4.5	6.5	3.4	0.9	1.1	68.2
	中部・北陸	192	8.9	9.4	6.8	4.2	5.2	3.1	1.6	2.1	4.7	0.5	73.4
	近畿	192	9.4	8.9	2.6	8.3	4.7	2.6	2.6	4.2	0.5	0.5	76.0
	中国・四国・九州	240	7.1	7.1	4.6	4.2	1.7	3.8	1.7	1.7	0.8	0.4	78.3
都市規模別	21大都市	348	12.6	12.6	6.9	5.5	4.9	5.5	4.9	4.6	2.0	0.6	68.1
	15万以上の都市	378	10.6	8.7	6.1	5.3	3.7	2.6	3.2	1.9	1.3	0.8	73.5
	15万未満の市	372	8.3	8.9	3.2	4.0	5.4	2.4	3.5	2.4	0.8	1.1	77.7
	郡部	102	8.8	2.9	3.9	7.8	2.0	5.9	2.0	2.0	2.0	1.0	72.5

(%)

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆時系列で見ると、「花粉症による鼻への負担がかりにくい保湿ティッシュ・ローションティッシュ」は昨年から5ポイント減少。
- ◆「部屋干し専用の洗剤」が9%で一昨年から4ポイント増加。

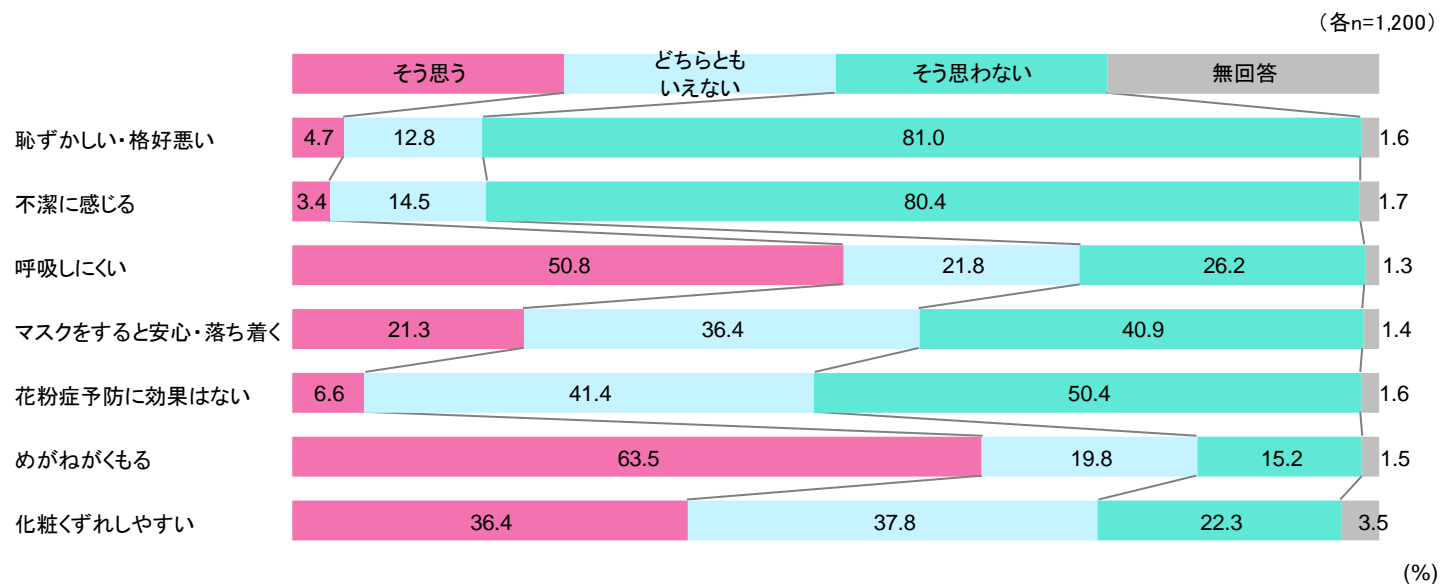
■ 全体 時系列



- ◆ マスクの装着で感じることを、以下の5項目に分けて質問した。2018年全体の結果では、【恥ずかしい・格好悪い】と【不潔に感じる】という項目について、「そう思う」はいずれも3~5%と少なく、80~81%が「そう思わない」と回答。
- ◆ 【呼吸しにくい】は、「そう思う」が51%で、「そう思わない」の26%を上回る。
- ◆ 【マスクをすると安心・落ち着く】は、「そう思わない」が41%で、「そう思う」の21%を上回るが、「どちらともいえない」も36%と多い。
- ◆ 【花粉症予防に効果はない】は、「そう思わない」が50%で、「そう思う」の7%を上回るが、「どちらともいえない」も41%と多い。
- ◆ 【めがねがくもる】は、「そう思う」が64%で、「そう思わない」の15%を上回る。
- ◆ 【化粧くずれしやすい】は、「そう思う」が36%で、「そう思わない」の22%を上回るが、「どちらともいえない」も38%と多い。

Q 「マスクを装着すること」について感じることを、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の中からお知らせください。(各単数回答)

■ 全体 2018年



- ◆性別で見ると、「化粧崩れしやすい」は女性の58%が「そう思う」と回答している。
- ◆年代別で見ると、【呼吸しにくい】は40代が56%と多く、15～19才と50代、70代は42～46%と少ない。

■ 性別・年代別 「そう思う」比率 2018年

		n	恥ずかしい・格好悪い	不潔に感じる	呼吸しにくい	マスクをすると安心・落ち着く	花粉症予防に効果はない	めがねがくもる	化粧くずれしやすい
全体		1,200	4.7	3.4	50.8	21.3	6.6	63.5	36.4
性別	男性	592	5.4	3.7	50.5	16.6	7.4	61.7	14.0
	女性	608	3.9	3.1	51.0	25.8	5.8	65.3	58.2
年代別	15～19才	74	9.5	1.4	41.9	28.4	5.4	51.4	25.7
	20～29才	148	3.4	4.1	55.4	19.6	6.8	62.8	37.8
	30～39才	187	5.3	1.1	54.5	20.3	4.8	69.0	47.1
	40～49才	221	6.3	5.0	56.1	17.6	6.3	63.8	35.3
	50～59才	186	3.8	3.8	45.7	18.3	7.0	62.9	38.7
	60～69才	223	4.5	4.5	50.2	20.6	6.3	65.0	35.0
	70～79才	161	1.9	2.5	45.3	29.8	9.3	61.5	28.6

(%)

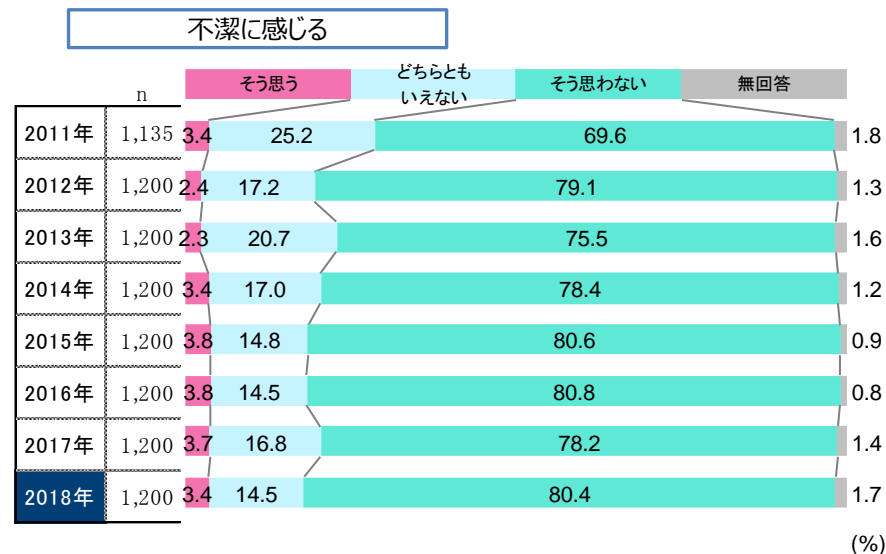
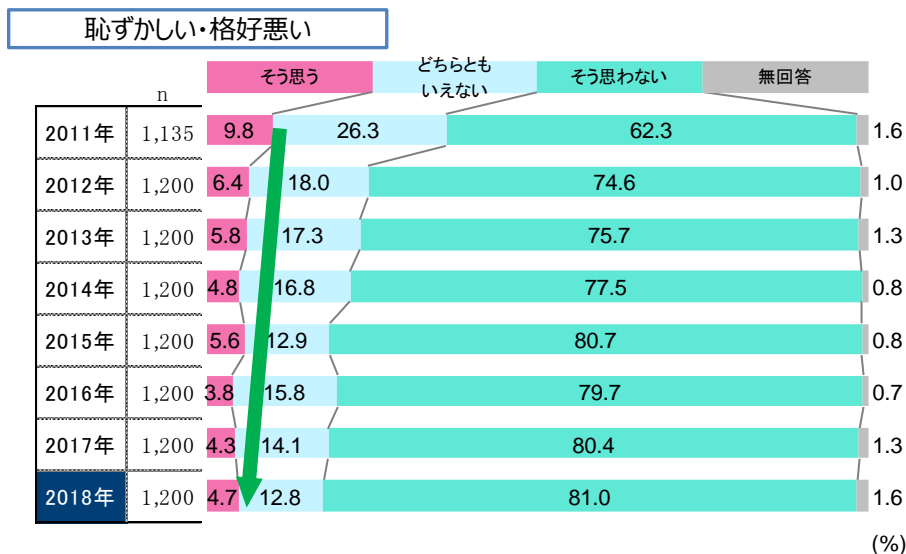
(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

		n	恥ずかしい・格好悪い	不潔に感じる	呼吸しにくい	マスクをすると安心・落ち着く	花粉症予防に効果はない	めがねがくもる	化粧くずれしやすい
全体		1,200	4.7	3.4	50.8	21.3	6.6	63.5	36.4
エリア別	北海道・東北	132	4.5	6.8	48.5	25.8	9.1	62.1	28.8
	関東	444	4.1	1.8	50.5	21.4	6.3	64.0	36.9
	中部・北陸	192	5.7	2.6	48.4	20.8	5.7	67.2	38.5
	近畿	192	5.7	5.7	60.9	18.2	7.3	58.3	36.5
	中国・四国・九州	240	4.2	3.3	46.3	21.3	5.8	64.6	37.9
都市規模別	21大都市	348	4.6	2.9	53.7	23.6	7.5	65.2	35.1
	15万以上の都市	378	5.6	4.0	48.9	17.5	5.6	63.0	35.7
	15万未満の市	372	4.0	3.2	52.4	22.3	6.5	62.6	37.9
	郡部	102	3.9	3.9	41.2	23.5	7.8	62.7	38.2

(%)

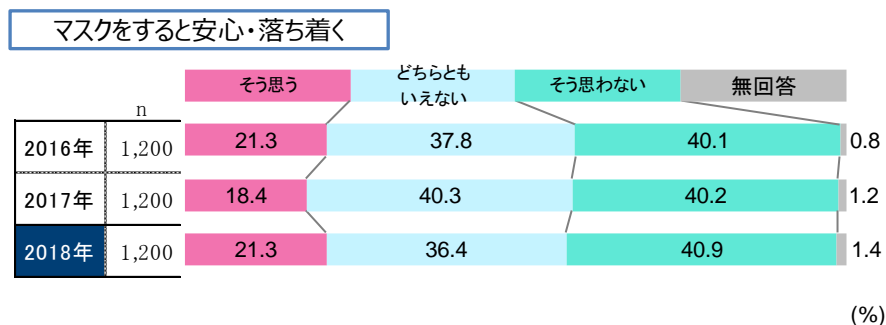
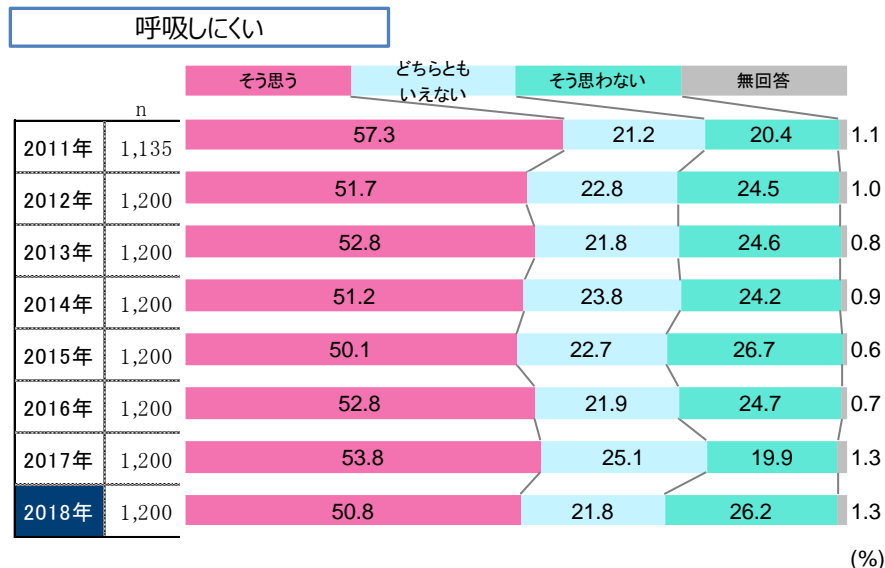
◆ 時系列で見ると、【恥ずかしい・格好悪い】を「そう思う」と回答する人は、2011年は10%だったが、徐々に減少傾向が見られる。

■ 全体 時系列

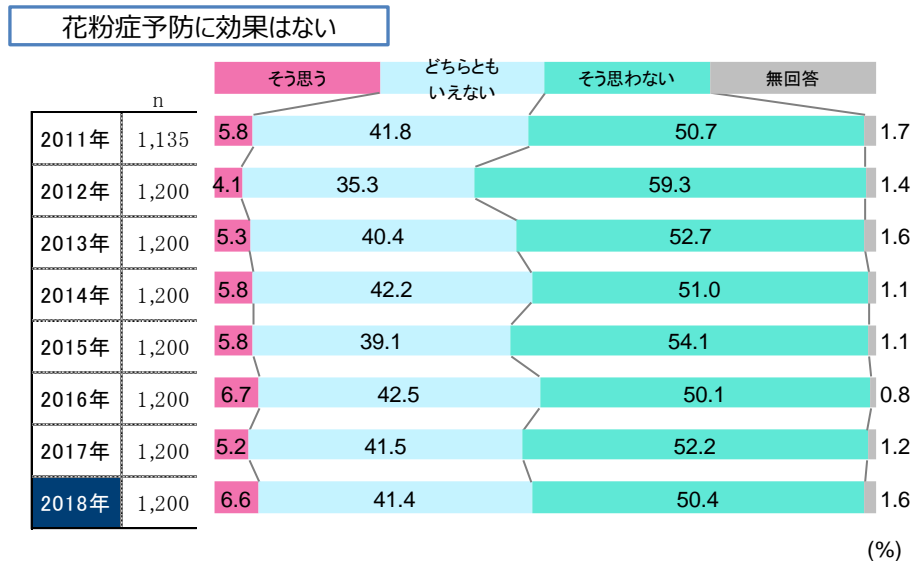


◆【呼吸しにくい】【マスクをすると安心・落ち着く】【花粉症予防に効果はない】の各項目については、ほぼ変動なく推移していると言える。

■ 全体 時系列



注1; 「マスクをすると安心・落ち着く」は2016年に項目追加
 注2; 「めがねがくもる」「化粧崩れしやすい」は2018年に項目追加のため時系列比較はない。



調査方法

- NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当て

調査期間

- 2018/3/2～3/14(過去調査は2003年、2010年～2017年いずれも3月に実施)

NOS(日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ)について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、40年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的実施する乗り合い形式(オムニバス)の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**